Printed in Japan 7943CKE

セコニックビュースポットメーター
SEKONIC VIEW SPOT METER
model L-438 説明書

セコニック

お買いあげをいただき、まことにありがとうございます。

この取扱い説明書をよくお読みいただいて、セコニック・ビュースポットメーターL-438の性能を十分にご活用ください。

本社・営業所　〒177 東京都練馬区大泉学園町7－24－14　03 (922)2153

大阪営業所　〒541 大阪市東区本町2－25 本町ビジネスビル　06 (263)1571

名古屋営業所　〒460 名古屋市中区栄5－8－14　万国ビル　052(251)6201

東京サービスセンター　〒162 東京都新宿区市ヶ谷田町3－8　新杵ビル　03 (269)7241

アフターサービスについて

弊社の製品には一定期間内の無料修理をお引受けする保証書が添付されることになっておりますので、記載事項をお確かめのうえ販売店よりお受取りください。
なお保証書の再発行は致しませんので、取扱説明書と併せて大切に保管してください。

●無料保証期間などについて

①無料保証期間はお買上げ日より1ヵ年間でございます。
②保証書にお買上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
③無料保証期間内でも有料修理となる場合もございますので、保証書の記載事項をお確かめください。
④保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

●補修用性能部品の保有期間などについて

①補修用性能部品は5年間を目安に保有しております。したがって、本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお故障箇所によりましては期間が過ぎても修理可能の場合もありますのでサービスセンターにお問合わせください。
②修理可能期間はご使用の状態や環境、お手入の状態などによって異なる場合がありますので、現品をご持参のうえお買上げ店またはサービスセンターにご相談ください。
③修理可能期間内でも浸冠水、強度のショック、その他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題が残ると思われますものにつきましては修理不能となる場合があります。

●修理ご依頼時における留意事項

①修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。
ご指定のない場合には、各部点検をはじめ品質的、性能的に必要と認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご留意ください。
②修理をご依頼されたものの中には、単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、⊕⊖の逆、定格違いなどについて、よくお確めください。

●転居・贈答品の場合の手続きについて

①転居または遠隔地からの贈答品で販売店にご依頼しにくい場合は、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

●お問合わせ先について

本製品の保証、修理、使い方などのお問合わせは、最寄りの営業所またはサービスセンターをご利用ください。

■目次

この露出計の特長……2
仕様……3
各部の名称……4
取扱い
1・電池を入れます……6
2・バッテリーチェック……6
3・ファインダー……7
4・計算板……7
測定及び読み取り
1・フィルム感度をセット……8
2・受光角のセット……8
3・測定、読みとり……9
露出の決定
1・被写体の平均輝度で露出を決定するとき……11
2・被写体の主要部を基準として露出を決定するとき……12
3・被写体の各部を部分測光して露出を決定するとき……12
取扱い上の注意……15
アフターサービスについて……16

この露出計の特長

1・使いやすさ
* シャッタースケールが直接スライドする直読露出計です。
* 目盛はリニヤーで読みとりやすいです。
* 測定範囲EV 3～18(ASA100)を1レンジで測定ができます。
* 受光角3°～10°可変のスポット測光メーターです。
* ファインダーの視野は一定で受光角標示リングが可変できます。
* ファインダー内でコントラスト比が測定できます(ライトガイド目盛が表示されます)。
* バッテリーチェックはLEDの点灯で簡単です。

2・高精度
* 受光素子は、シリコン受光ダイオードの採用で、光応答性が明るさに関係なく速くなりました。
* 駆動部は、ダイナミックな、D.Cモーターと、高精度のポテンショメーターと併せて使用しています。
* 電子回路は、ハイブリットIC化の高信頼性です。

3・経済性
* 内部電子回路は、DC－DCコンバーターの採用によりマンガン乾電池単三(SUM－3)1.5V 1本と非常に経済的です。

4・その他
* コントラスト比、計算用、計算板がついています。

取扱い上の注意

セコニックビュースポットメーターＬ-438は精密機械ですので下記の点にご注意ください。

a．落下、または急激な衝撃は絶対にさけてください。
b．摂氏60度以上の高温を与えないようにしてください。
c．湿気の多いところへ長い間放置しないようにしてください。
d．ファインダーレンズは汚さないように注意してください。汚れた場合は柔い布等できれいにして使用してください。

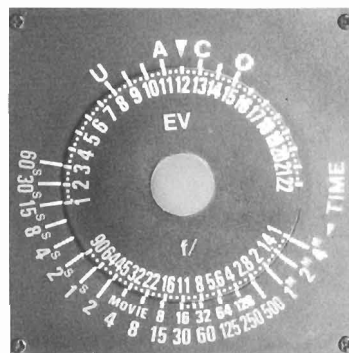
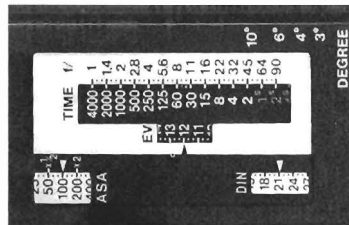
万一故障がおきましたときには、最寄の営業所またはサービスセンターにお持ちください。お近くに営業所またはサービスセンターがなく郵送される場合には厚さ3㎝以上の衝撃よけパッキングに包んでから段ボールなどで梱包してください。

(参考)

露出値(EV)目盛の数値の差によるコントラスト比は表のとおりです。

露出値(EV)目盛の差	コントラスト比	備　　考
1	1：2	
2	1：4	
3	1：8	
4	1：16	
5	1：32	カラーフィルム撮影許容値
6	1：64	
7	1：128	モノクロームフィルム撮影許容値

＊ムービー目盛の読みとり。
測定方法はスチルカメラ(一般の撮影)の場合とまったく同じですが、ムービー撮影の場合は8、16、32……とカメラのコマ数に適する絞り目盛を読みとりカメラにセットします。

＊シヤッタースケール上の露出値(EV)目盛を読みとりそのEV値を計算板指標に合わせます。そのときのムービーのコマ数と絞り目盛の組合わせが適正露出です。

[ムービー目盛の換算]

＊ムービー目盛は、撮影コマ表示で次のようなシヤッター速度になっています。(ムービーカメラのシヤッター開角度が180°の場合)

- 128コマ………1/250sec
- 64コマ………1/125sec
- 32コマ………1/60sec
- 24コマ………1/50sec(赤の線の表示、シヤッタースケール上にも同じ印で表示)
  標準劇映画の撮影コマ数
- 18コマ………1/40sec(白の点の表示、シヤッタースケール上にも同じ印で表示)
  シングル8、スーパー8の標準コマ数
- 16コマ………1/30sec
- 8コマ………1/15sec

仕様

測定方式：
・反射光式
・シヤッタースケール自動駆動
・1レンジ測定(H.L切換なし)

測定範囲：
・ASA100でEV3～18

測定精度：
・±1/3 EV以内

ファインダー：
・逆ガリレオ式ファインダー
・視野角……36°
・倍　率……M＝0.6倍
・視野表示……3° 4° 6° 10°の可変受光角標示リング
　……3～18のライトガイド目盛

受光部：
・受光角……3° 4° 6° 10°(4点切換)
・受光素子……シリコン受光ダイオード
　フィルターにより視感度補正

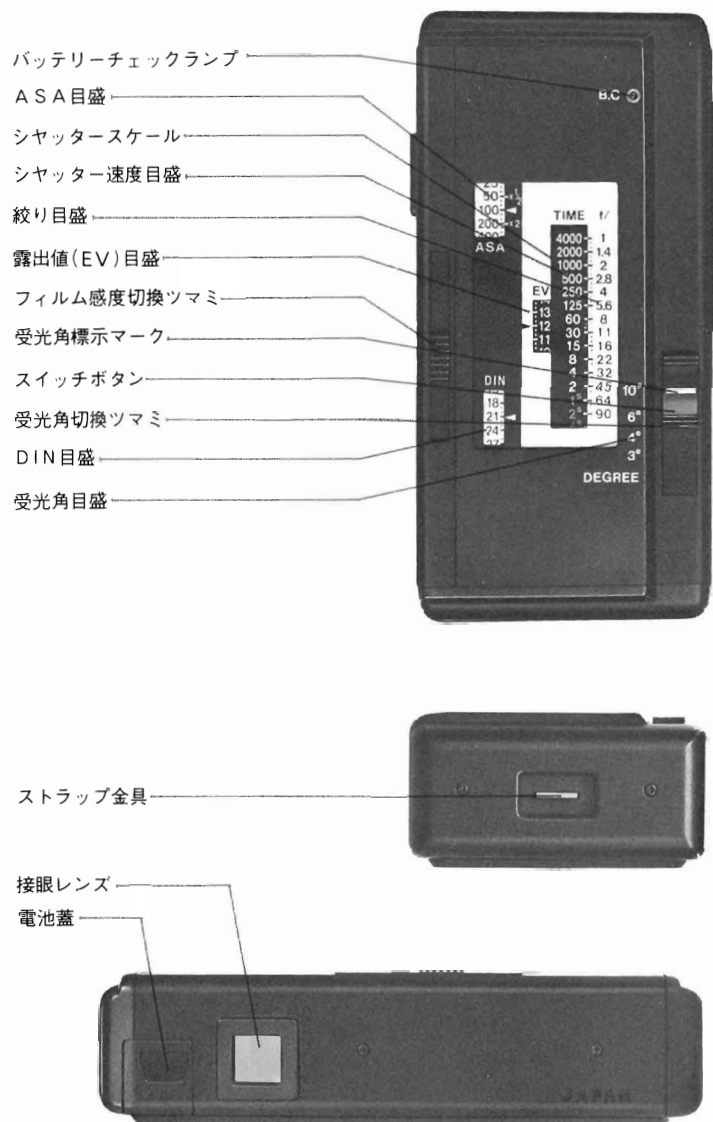
目盛：
・ASA(DIN)…………6(9)～6400(39)
・絞り(f/)…………1～90
・シヤッター速度……60～1/4000秒
・露出値(EV)………1～22
・ライトガイド………3～18(ファインダー内)
・ムービー……………8～128

電源：
・マンガン乾電池単三(SUM－3 1.5V) 1本

電子回路：
・ハイブリットI.Cを使用した高信頼性電子回路、
・LED使用によるバッテリーチェック回路、

校正定数：
・K＝12.5

大きさ(重量)：
・130×62×32.5mm(約250g電池含む)

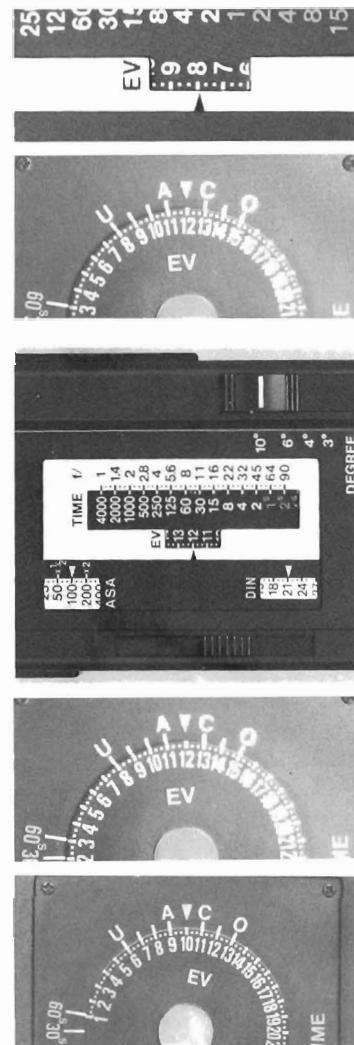
各部の名称

a．被写体の暗部（シャドー部）を測定しそのときのシヤッタースケール上の露出値（EV）目盛を計算板の"U"の目盛に合わせます。

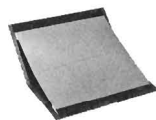
b．次に被写体最明部（ハイライト部）を測定しそのときシヤッタースケール上の露出値（EV）目盛を読みとります。

c．そのときの露出値（EV）目盛がモノクロームフィルムの場合計算板上の"O"の範囲内にカラーフィルムの場合は"C"の範囲内にあるか確認します。

d．各目盛が範囲内にある場合はハイライト部とシャドー部の中間の数字に計算板指標を合わせます。
その時の計算板絞り目盛と、シヤッター目盛の組合わせが、この被写体の適正露出となります。

〔例〕カラーフィルムのASA100の場合
a……シャドー部のEV目盛8
b……ハイライト部のEV目盛12
c……範囲内に入っている
d……中間値10
適正露出
シヤッター速度1/125　1/8　1s
絞り目盛　2.8　11　32
になっています。

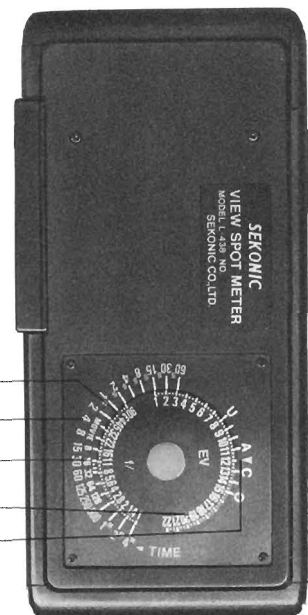
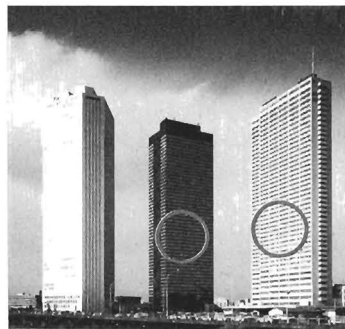
e．暗部を基準にして明部の明るさがカラーフィルムで"C"モノクロフィルムで"O"目盛を超えた場合は、どちらかを犠牲にして露出を決定するか、ハイライト部に当る光量を制限するか、シャドー部に補助光やレフを使用して明るさを増加させます。

b．被写体の全体を測光できない場合
露出計の受光角を10°にして明部、暗部の比較的少い中間部を測定して露出を決めます。
露出の組合わせの読みとりはa項と同じです。

c．標準反射板を利用する場合
被写体の光線状態と同じにしてセコニック標準反射板を測定して、露出を決めます。露出の組合わせの読みとりはa項と同じです。

セコニックスタンダードリフレクター（標準反射板）
反射光式の露出計で被写体の平均値を測定するのに便利です。
サイズ：69×117mm

2・被写体の主要部を基準として露出を決定するとき

人物撮影の場合は顔が大切です。顔に露出を合わせたいときとか、被写体のある部分の色を美しく描写したいとき等に、受光角標示リングを切換えて主要部の露出を測定し、露出を決定します。

3・被写体の各部を部分測光して露出を決定するとき

コントラストのある被写体の全体を出したいとき、カラーで美しい色に仕上げたいときには、受光角をスポット(3°)にしてこの方法で測定し、露出を決定します。

取扱い

1・電池を入れます

電池はマンガン乾電池単三(SUM－3)1.5V、1本を使用します。

〔電池の入れかた〕

＊電池蓋を矢印方向に開けます。
＊電池の⊕⊖の極性を確認してケース内の極性表示に合わせて⊖側を手前にして挿入します。
＊電池蓋を閉じます。

〔注意〕

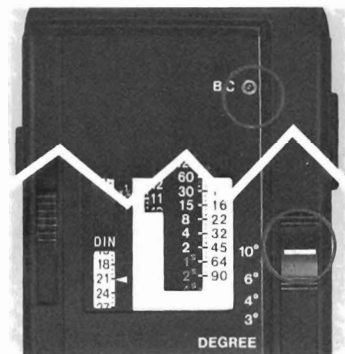
＊電池を入れるとき電池の⊕⊖の極性をまちがえないでください。

＊長時間(1ヶ月程度)使用しない時は、電池の漏液等による機械の不良を防ぐため電池をとりだして乾燥した場所に保管してください。
・電池は普通に使って100分以上(使用時間の累計、SUM－3クラス)使用できますが、使用頻度の多い場合はスペアーの電池をご持参ください。

2・バッテリーチェック

電池が規定の電圧以下になりますとシャッタースケールが適正な作動をしません。

〔チェックの方法〕

＊スイッチボタンを押すとバッテリーチェックランプが瞬間(0.3 sec)赤く点灯してシャッター速度目盛が作動します。
＊バッテリーチェックランプが点灯しない場合は規定値以下ですので新しい電池と交換してください。

露出の決定

この露出計を使用して露出を決定する場合、一般の露出計と同じ考えで扱いますと思わぬ失敗を招くこともあります。この露出計は被写体の部分測光から平均測光まで、測定できますので十分に説明書を読んでご利用いただければ、貴方の写真の露出決定にはかかせない露出計になります。

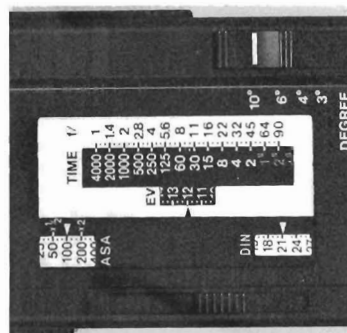
カメラの画角

1・被写体の平均輝度で露出を決定するとき。

この方法では被写体の明、暗が占める面積の大小が問題になります。即ち明部の面積が多いときは、全般に露出不足気味になり、暗部の面積が多いときは、露出過度気味になります。

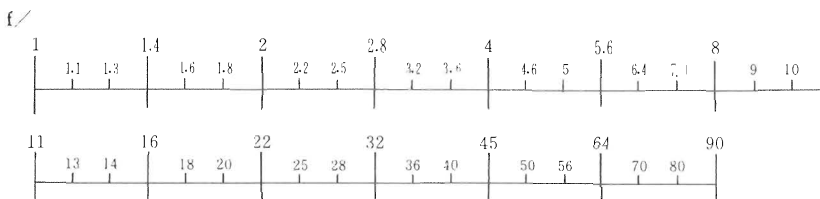
受光角標示リング

a．被写体全体を測定するとき。
撮影するカメラのレンズの画角と本機の受光角標示リング(受光角)が同等であれば、その被写体の平均輝度を測定したことになります。そのときの絞り目盛とシャッター目盛の組合わせが適正露出となります。

＊写真ではシャッター速度1/250 sec…1/15sec
絞りf/　は　4……16
等の組合わせが適正露出になっています。

参　考
受光角標示リング(受光角)とカメラの標準レンズの画角の関係は右記のようになります。

35㎜カメラレンズ		6×6カメラレンズ		受光角標示リング
焦点距離	画　角	焦点距離	画　角	
250㎜	10°	500㎜	9°40′	10°
400㎜	6°10′	800㎜	5°30′	6°
600㎜	4°10′	1000㎜	4°30′	4°
800㎜	3°	1200㎜	3°40′	3°

〔絞り目盛の中間値の表示〕

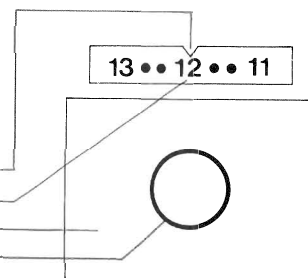
＊小さな点で表示した中間値の絞り目盛は次のとおりです。

〔露出値(EV)目盛とライトガイド目盛について〕

＊露出値(EV)目盛は、LV方式のカメラの露出値決定に、又コントラスト測定のガイド目盛に使用すると便利です。
EV値の定義は次のようになっています。

$2^{EV}=A^2/T$
EV＝露出値
A ＝絞り(Fナンバー)
T ＝シャッター速度(sec)

＊EV目盛とライトガイド目盛はASA100の場合のみ同一になっています。

3・ファインダー

ファインダーは固定視野で、中の受光角標示リングに見える範囲内の被写体の平均輝度を正確に測定します。

4・計算板

コントラスト比の計算、測定値のメモ、ムービー用の露出、及び露出の決定等に利用すると便利です。

＊U(UNDER)とO(OVER)
一般にフィルムはその感光の範囲が限られております。被写体の明るさが、この範囲から出た場合はその部分がフィルム上に再現されません。平均的明るさ、計算板指標"▼"に対して"U"最暗、"O"は最明度の限度を表わしています。

＊A(ABCENCE OF CONTRAST)とC(CONTRAST)
U,Oと同様にモノクロームフィルムを使った撮影のときに使います。"A"は展開した風景のような、コントラストの少いフラットな被写体のときに、"C"は逆光のようなコントラストの強い被写体のときに計算板指標▼の代りに使用します。

測定及び読み取り

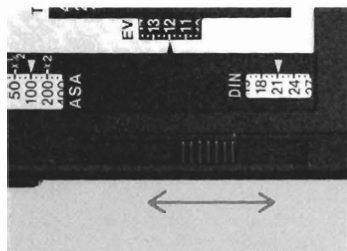
1・フィルム感度をセット

使用するフィルム感度をセットします。

〔あわせかた〕

＊フィルム感度切換ツマミを、指で押えて矢印方向にスライドさせ、表示窓の中のASA(DIN)目盛をそれぞれの指標(▼)にクリック位置でセットします。

＊写真はASA100(DIN21)にセットされています。

＊フィルム感度の中間値は次の表の通りです。

ASA	6	8	10	12	16	20	25	32	40	50	64	80	100	125	160	200	250	320	400
DIN	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27

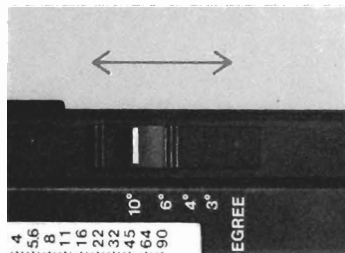
ASA	500	640	800	1 M	1.2M	1600	2 M	2.5M	3200	4 M	5 M	6400
DIN	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39

2・受光角のセット

ファインダーをのぞいて被写体の測定する部分にあう受光角標示リング(受光角)をセットします。

〔あわせかた〕

＊受光角切換ツマミを指で押えて矢印方向にスライドさせると、10°、6°、4°、3°の各受光角にクリックでセットできます。

＊写真では受光角10°にセットされています。

3・測定、読みとり。

a．ファインダーをのぞいて受光角標示リングを被写体の測定したい箇所に正しく向けます。

b．スイッチボタンを押すと、シヤッタースケールとライトガイド目盛が、被写体の輝度に応じてスライドします。スイッチボタンを離しますと、各目盛は固定します。

c．そのときの露出値(EV)目盛、又はシヤッター速度目盛と絞り目盛の組合わせを読みとります。

〔注意〕

＊ライトガイド目盛の動きが確実に止まったことを確認してスイッチボタンを離して(OFF)ください。

＊特に暗い被写体(ライトガイド目盛3以下)又は特に明るい被写体(ライトガイド目盛18以上)の測定範囲外の警告はライトガイド目盛が細かく振動し続けます。

＊太陽を直接測定したり、ファインダーでのぞいたりしないでください。

〔シヤッター速度目盛の表示〕

＊白い数字の表示

・1/sec……60、2000で表示されています。

＊赤い数字の表示

・sec(秒)…2^{s}、15^{s}で表示されています。